

事業評価書

補助事業名	交通施設:箕郷-206号線				
補助事業者名	高崎市長				
実施場所	高崎市箕郷町生原				
補助事業の成果の目標	<p>昭和62年に供用開始の本路線は主要地方道高崎・東吾妻線と一般県道柏木沢・大八木線を結ぶ地域の主要道路であるとともに、学生も通学に利用している。</p> <p>しかし、過去の舗装工事から10年以上経過したことによる老朽化で路面が亀甲状にひび割れるほど損傷が激しい状態である。通行時の快適性や安全性が悪化していることで周辺住民の日常生活に支障をきたしており、今後更なる舗装の劣化も懸念される。</p> <p>そこで、現在の交通量に見合った構造で舗装を改良することにより、車両及び歩行者の通行の快適性・安全性を確保し、周辺住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 箕郷町生原地区 世帯数 1,807世帯 人口 4,226人 (令和3年10月1日現在)</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=449.8(現年度)m/1080.0(全体計画)m 幅員W=4.0~5.9m				
補助事業の始期及び終期	平成26年度 から 令和6年度				
事業費及び交付金額		2年度以前	3年度	4年度 予定	計
	事業費	円 39,020,400	円 37,708,000	円 13,673,240	円 90,401,640
	交付金額	円 35,501,000	円 37,169,000	円 9,600,000	円 82,270,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 工事完了区間について、地域住民(区長等)に聞き取り調査を行ったところ、安全性・快適性が向上しているとの回答があった。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 地域住民への周知は、工事看板及び工事回覧への記載、工事完成後ペイントを実施した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	工事完了区間について、通行の安全性・快適性が向上したことから、今後とも地域住民の理解を得ながら、事業を実施する。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				